

## 【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

## 未来を切り拓く決意

校長 香西雅斗

科学と自然の散歩みちでは、サルスベリの紅白の花が強い日差しに輝いています。厳しい暑さが続いています。気候は不安定で、西日本では豪雨により多くの被害が出ています。被災地・被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて中瀬中学校では、梅雨が明けた直後の6月30日（土）に、創立70周年記念式典が行われました。ここで、式典の最後を締めくくった生徒会長の挨拶を紹介します。

本日、本校は、創立70周年を迎えました。多くのご来賓の皆様と共に参加できていることを、大変うれしく感じています。

先ほどのスライドで紹介されたように、私たちの生活には、70年の歴史の中で築かれたものが生きています。校庭の自然や、音楽の中瀬と呼ばれるゆえんとなった大地讃頌など、先輩方からのバトンを受け継ぎ、次の世代に引き継ぐことが、私たちの使命だと、強く感じました。また、70年という長い歴史をもつ中瀬中の生徒であることを誇りに思うとともに、身の引き締まる思いです。

私たち中学生は、大人と子供の狭間にあります。入学前は小学生ですが、卒業後は社会にも進めます。そう考えると、その間に位置する3年間は、とても貴重なものであると、私は考えます。

情報化社会が進む今、私たちは物事を正しく判断し、主体的に行動する力が、求められています。では、私たちの中瀬中でできることは、何でしょうか。伝統を引き継ぎながらも、新しい時代に柔軟に対応していくことだと思います。そのために私たちは、日々の授業で知識を蓄え、日常生活から、社会で生きていくための自立心を養っているのです。

先日行われた体育大会の様に、中瀬中の長所は、一人一人の個性を出しながらも、臨機応変に力を合わせ、一つの集団になれるところだと思います。準備の段階から委員会や係会が、率先して活動し、自分たちの手で行事を作り上げました。そして競技に一生懸命取り組み、全員が全力を出し切った体育大会。確実に中瀬中の団結力は深まった、と感じています。

この様に素晴らしい行事や伝統をもつ中瀬中ですが、ここ数年で少しずつ変わろうとしています。例を挙げるなら、セーター・カーディガンのルールを作り、昼休みに体育館を開放し始めたことなどです。もちろん、失敗や課題が見えることもあります。しかし、厳しいルールで縛るのでは意味がありません。難が巢立つための練習と同じで、ここでの経験は、また次の世代に、そして私たち自身の次のステージで生かされていくのです。

中瀬中学校はこれからますます変化し続けていくでしょう。一時は廃校の危機もありましたが、先輩たちの尽力で、中瀬中は復活しました。そんな中瀬中にいる私たちは、さらにその先へ飛躍できる世代ではないでしょうか。

自由の中にも規律があり、笑顔があふれる学校であれるよう、一人一人が意識して、学校生活を送ってきたいです。変化を受け入れながら私たちを育てくれる中瀬中に、70年の歴史が確かに息づいていることを忘れないように、古希を迎えた校舎と共に、これからも歩んで参りたいと思います。

最後になりましたが、中瀬中を気にかけてくださる地域の皆様、いつもありがとうございます。皆様のおかげで、私たち生徒は健やかな学校生活をおくることができます。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、あつて良かったと思われるような中学校を目指していきたいと思ひます。

皆様に、これからも中瀬中学校と私たち生徒を温かく見守ってくださるようお願い申し上げます、生徒代表の言葉といたします。

平成30年6月30日 生徒代表



# 創立70周年記念式典

式典では校長式辞、教育長祝辞に続き『中瀬中学校の70年を振り返って～伝統の確認と未来を切り拓く決意～』のスライド上映が、生徒会役員のナレーションによって行われました。

高射砲陣地跡に作られた校舎、創立期に活躍したサッカー部、26クラスまで膨れ上がった生徒数、PTAに寄付していただいた楽器やスプリンクラーなどの逸話が紹介されました。ここで10周年まで歌われていた最初の校歌が、生徒たちの歌で披露されました。



<大地讃頌を指揮される下田先生>



<伴奏の3D長田さんと握手>

<来賓の方が見守る中でのスライド上映>  
 続いてバスケット部や合唱部の活躍と“音楽の中瀬”を推し進めた下田正幸先生とクラス合唱の活躍が紹介されました。  
 そして、今年90歳になられた下田先生がステージに上がり、中瀬中のシンボル『大地讃頌』の全校合唱の指揮をされました。

続いて、14年前に新入生が52名まで減った中瀬中の苦しい時期と、その中でもあきらめなかった先輩たちの取組「科学と自然の散歩みち」「中瀬自然観察路（H21 全国学校ビオトープコンクールで銀賞）」「知的障害のある方たちとの交流（スペシャルオリンピックス）」「中瀬検定」「中瀬フェスタ」などが紹介されました。

最後に、第二回卒業式での在校生代表の送辞を朗読し、これまでの伝統の確認と未来を切り拓く決意を胸に、保護者と地域の皆様への感謝をこめて、生徒全員で中瀬中学校の校歌を合唱しました。



<3期生の村上さんの送辞>

ここで休憩をはさみ、後半は吹奏楽部の演奏、生徒会役員が作成した部活紹介のビデオの披露、ビオトープ委員会による「科学と自然の散歩みちの3年間の取組報告」と「樹名板作成への協力依頼」が行われました。（式典後の募金などで、60枚以上の樹名板が作成できる費用が集まっています。）

参加された来賓の方からは「中学生の力って本当にすごいですね。」という声が寄せられました。

## 良い班作ろう鎌倉見学

2年生は6月15日（金）雨模様の中、鎌倉で校外学習を行いました。自分たちで計画を立て、長谷寺、大仏、鶴岡八幡宮などを見学しました。



<鶴岡八幡宮のチェックポイント>

もう一度鎌倉にきたいね」と話すほど仲が深まった  
 二D  
 :最初、計画を全て自分たちで考え、一日中班だけで行動する、と聞いた時は、すごく不安でした。でも、計画を立てていくうちに、この班のメンバーとなら大丈夫だと思えるようになってきました。  
 :鎌倉駅に降りた瞬間、東京に比べて空気がきれい、雰囲気が良いなと感じました。:鎌倉文学館の受付に着くと、お客さんが一人も見えず少し不安になりました。緑が多くて薄暗い道を進んでいくと、大きな館が現れ、思わず声を上げてしまいました。建物に入って時計を見ると遅れていた時間を挽回できていました。ゆつくり見学することができました。  
 :一人一人が自分のペースを押し通さずに協力し、みんなが同じ様に感動や達成感を味わったりすることで、良い思い出になったし、達成感も味わえました。:これはクラスや学年でも同じで、何か物事を一緒に成し遂げようとする時、全員が上手くいくとは限りません。上手くできない人を置いて先に行くのではなく、時間がかかっても良いからみんなで助け合っ  
 て進んでいくことが大切だと思います。

# フレンドシップスクール

1年生は7月4日（水）～6日（金）に新潟県小千谷市にフレンドシップスクールに行ってきました。

## 【一日目：飯盒炊爨と開村式】

最初に五十沢キャンプ場で飯盒炊爨を行い、カレーライスを作りました。その後、小千谷サンプラザで開村式を行い、3～5人ずつに分かれ、それぞれの宿泊先の農家で様々な体験をしました。



＜飯盒炊爨＞

## 【三日目：閉村式と防災教育】

最終日は農家の方に小千谷市総合体育館まで送っていただきそこで閉村式を行い、校歌と赤とんぼの歌をプレゼントしました。その後、おぢや震災ミュージアム「そなえ館」に行き、2004年の中越大震災での震度7の揺れの体験をした後、職員の方の指導のもと、ビニール袋や新聞紙で、雨合羽やスリッパを作りました。



＜防災学習＞

## 【宿泊体験紹介：生徒の作文より抜粋】

それじゃさようなら」と僕はバスに乗りました。すごく悲しかった。三日前の僕と南さんは赤の他人でした。でも…

(A)

先輩から聞いて楽しみだった行事。野菜の収穫や押し花のコースター作り。忘れていたことや、今まで感じられなかったことを感じ、とても新鮮だった。

(A)

歩くとカエルやバツガが飛び跳ね、時にはトカゲもいて、みんなで捕まえて遊びました。新潟のお米はもちもちでふわふわで美味しかったです。

(B)



毎日のご飯が一番印象に残った。多人数で楽しく食べられて、とても嬉しかったです。

(A)

取れたてのキュウリを水洗いし、そのまま食べた。甘くてすごくおいしかったです。

(A)



朝、外に出ると快い風が吹いていて、虫もたくさんいて、緑もたくさんあり、散歩するのが楽しかった。

(B)

枝豆の苗を植えたり、キュウリやピーマンの収穫など、これから一回もやらなそうなことをさせてくれて、すごく心に残りました。

(B)



一日目の夜に蛍を見るのができて、本当に嬉しかったです。車のライトに蛍が集まってきたことには、すごくびっくりしました。

(B)

僕は雑草を取るのが一番心に残りました。大変だけど、終わった時の達成感がすごかったです。農家の人はすごい。

(C)

びっくりしたのは普通にクワガタがいた事、夜が真っ暗だったことです。後、河で水切りをして遊んだことが印象に残っています。

(C)

関さんが一発でまきを割っていてすごかった。簡単だと思っていたが、思っていた以上に重く、真ん中に当てるのが難しかったです。

(A)

蛍を生で見えるのも、ヤギにえさを上げるのも初めてでわくわくしました。思い返せば、またやりたいものが、目に浮かびます。

(B)

初めて食べたブルーベリーは酸っぱいのも甘いのもあり、メロンと一緒に食べたり、ジュースにしました。

(C)

この三日間、家族の様に過ごせて本当に楽しかったです。また来てね」と言ってもらえて本当に嬉しかったです。

(C)

…おじさんもおばさんも、私たちの事を自分の子供のように接してくれて嬉しかったです。

トマトを収穫する時、ハサミで切るのに、思ったよりも力が必要でした。取れた時はとても嬉しかったです。

(C)

一日目は初めてあんなに早く起きました。五時くらいに毎朝起きているんですね。すごいなと思います。

(C)

蛭を見たり、クワガタを捕まえたり、畑仕事をしたのは、一生の思い出です。(D)  
 僕はこんなに自然が素晴らしいなんて思いもしませんでした。  
 山もきれいで、空気もおいしく、みんなで一緒にご飯を食べると、こんなに楽しくてとても楽しかったです。(D)  
 今まで虫が苦手でしたが、煙にはいろいろな虫がいて、自然と平気になっていました。(D)  
 朝には清水を汲みに行つて、その水は冷たくて美味しかった。身近にそういう場所があるのはうれしい。(D)  
 たくさん梅の実がなっていて全て採るのは大変でした。十キロ以上でした。(D)  
 最後にはちまぎの笹をきれいに巻けるようになった。帰ってから家族全員がちまぎをおいしいと言ってくれた。(D)

「三日間すごく贅沢な時間を過ごした。」という木崎君(A組)の言葉に象徴されるフレンドシップスクールでした。

## 中瀬中は持続可能な社会に向け学習を進めます

6月6日(水)に杉並区のごみ減量対策課の山田さんと福島さんから、私達が出しているゴミの行方と食品ロスについてお話を伺いました。

「まだ食べられるのに捨てられている食品が日本で年間632万トンもあり、食糧援助の2倍以上なことに驚いた。(2D)」

「国民一人当たりお茶碗一杯分が毎日捨てられている。未利用食品が10個に1個もある。(3A)」

ことを知り「賞味期限」と「消費期限」の違いを意識したり、好き嫌いで給食を無駄にしたりしないことや、野菜などを無駄なく食べることを意識しようという声が上がっていました。

中瀬中では毎年、桃五、八成の小学生と一緒に、夏休みに環境チェックシート「未来の事と思わずに今、行動する」に取り組んでします。今年は**ビオトップ委員会**がチェックシートを、食品ロスを含む内容に**進歩**させました。(1・2年生で取り組みます。)

また、10月20日(土)の午後の中瀬フェスタで、余っている食品を集める「**フードドライブ**」の活動も予定しています。



<生徒代表のお礼の言葉>

私たちにとっては普通だったことが、こんなにも環境に影響を与えていると思うと、深刻な問題だ。  
 毎日の食事から少し調整すれば、世界の何人もの人が救える。だからまず、現状を知り、小さなことからでも行動していきたい。(1C)

8・9月の予定							⑤…スクールカウンセラー出勤予定日
日	月	火	水	木	金	土	
8/25	27	28	29	30	31	9/1	
				始業式 引き取り訓練	前期最終専門・中央委員会		
2	朝礼 3	職員会議 ⑤ 4	5	6	7	8	
				幼稚園実習(3年)	口腔保健指導(1年)	中瀬学級御路説明会	
9	朝礼 10	⑤ 11	職員会議 12	13	14	15	
	学校公開開始 安全指導	桃五・八成6年来校	マナー講習(2年)	沓掛6年来校	学校公開終 生徒会役員選挙	オータムコンサート	
16	敬老の日 17	⑤ 18	職員会議 19	20	21	22	
		学習教室始 選抜訓練					
23	24	25	26	専門中央委 27	28	給食あり 29	
秋分の日	振替休日	学習教室終	中間考査	中間考査		国際交流デー	

<10月の予定> 3(水)~5(金)2年職場体験、5(金)進路説明会、13(土)中瀬言葉の検定、2年職場体験振り返り、震災救援所訓練(午後)、15(月)~音楽発表会準備期間、18(木)3年理科出前授業、20(土)中瀬フェスタ(午後)、29(月)音楽発表会(杉並公会堂)